

～日本各地で国際的活動を行う皆様を支援するメールマガジン～

グローバル通信10月号

外務省地方連携推進室



第128号 令和元年10月1日

外務省地方連携推進室
運営ホームページはこちら

グローバル外交ネット
外務省と地方が連携する

TICAD7横浜開催を終えて(横浜市)



ACCP第2回全体会合



小学生による会議参加者出迎え

8月28日から30日まで、パシフィコ横浜にて、第7回アフリカ開発会議(TICAD7)が開催されました。期間中、横浜市は「国際技術協力の拡大」、「ビジネス支援の強化、女性の活躍推進」、「次世代育成・市民交流の充実」の3つの方向性にそって、ブース出展やシンポジウムの開催などを実施し、横浜市の様々な取組を紹介しました。また、市民のみならず、子どもから大人までボランティア活動を通じて会議に関わり、参加者との交流が行われました。[詳細](#)

世界最大野鳥観察会「バードフェア2019」に出展 ～コウノトリ野生復帰の取組みを世界に発信～(豊岡市)

豊岡市では、1965年からコウノトリの人工飼育に取り組み、2005年9月、世界で初めて、飼育下コウノトリの放鳥に成功しました。8月、こうしたコウノトリ野生復帰の取組みを世界に向けて発信するとともに、この取組みへの共感を広げることを目的として、イギリスで開催された「Birdfair2019」に出展しました。豊岡市のブースには多くの方が来られ、コウノトリ野生復帰の取組みや豊岡の観光についての話が聞かれたり、アメリカのメディアから取材を受けるなどしました。[詳細](#)



パトリシア・ズリータ会長と



会場の様子(豊岡のブース)

のブースには多くの方が来られ、コウノトリ野生復帰の取組みや豊岡の観光についての話が聞かれたり、アメリカのメディアから取材を受けるなどしました。[詳細](#)

外国人から見た地方活性化 Vol.2 トニー・エバリット氏 ～「静岡県におけるインバウンド観光の発展」～

静岡県全域の観光振興に取り組む「静岡ツーリズムビューロー」に勤務するトニー・エバリットさんに、「外国人の目から見た地方活性化」について寄稿いただきました。エバリットさんは、アジア太平洋地域のインバウンド観光の発展に30年間携わった後、静岡県への定住を決めました。静岡県には、他のアジア太平洋地域にはない豊かな魅力があると感じたと言っています。静岡に魅了されたエバリットさんは現在、増加するインバウンド訪問者をどのように迎えるべきか、静岡県の人々に伝えることに注力しています。[詳細](#)



トニー・エバリット氏

※記事は [詳細](#) をクリックするとご覧いただけます。

※次回配信は11月1日の予定です。グローバル通信に是非ご登録下さい。登録は[こちら](#)をクリック! ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jpまでお願いいたします。

★ 地方連携推進室から

- ・ 外交実務研修員からの寄稿(山名外交実務研修員)
- ・ 外交実務研修員からの寄稿(菅原外交実務研修員)
- ・ 外交専門誌『外交』Vol.57の発売

徳島県とカンボジアとのホストタウンを通じた絆



阿波おどりに参加したカンボジア選手団



徳島商業高校生徒とカンボジア生徒の交流

徳 島県の「阿波おどり」に今年、同県のホストタウンであるカンボジアから水泳選手団が参加しました。徳島県によるカンボジアのホストタウン登録は2017年12月ですが、その交流は2013年に、「カンボジア-日本友好学園」の学校運営費の収入確保を目指し、カンボジアと日本の高校生が協力した活動から始まりました。

この草の根交流で大きな役割を果たした徳島商業高校の生徒さんたちは、県のホストタウン特使に任命されています。今回は徳島とカンボジアのこれまでの交流やホストタウンの取組について御紹介します。

[詳細](#)

ホストタウンで繋がる日本とアフリカ

—第7回アフリカ開発会議(TICAD7) サイドイベントを通じて—



ホストタウンで繋がる日本とアフリカ



子どもたちとアフリカホストタウンを通じた交流

2 020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで1年を切り、日本全国でホストタウンの数も益々増えています。今回は横浜でのTICAD7に合わせて同会場で開催されたホストタウンサイドイベントをご紹介します。アフリカ諸国とホストタウン関係にある自治体の首長や子どもたちがシンポジウムやイベントに参加し、アフリカ諸国の方々とともに大いに盛り上がりました。どのようなきっかけで遙か遠くのアフリカの国々とホストタウンになれたのか。続きは本稿で。 [詳細](#)

外交実務研修員研修



ブリーフの様子



香川に関する展示

外

務省で勤務している地方自治体職員である外交実務研修員向けの研修が9月18日に渋谷ヒカリエで行われました。47都道府県の魅力を「デザイン」「旅」「食」といった視点から紹介する活動を行っているD&DEPARTMENTを訪れ、「ロングライフデザインの視点で地域らしさについて考える」というテーマで、その土地に長く根付く製品などを通じた地方活性化のための取組について話を伺いました。

この日は香川県の特集で展示会が行われており、参加した外交実務研修員は香川の食も堪能しました。

富

山県のアンテナショップ「日本橋とやま館」は、2016年6月にオープン。「上質な暮らしを、富山から。」をテーマに、富山で育まれてきた食・文化・伝統・技・デザインを幅

広いジャンルで東京日本橋から発信し続けています。伝統工芸制作体験やます寿し食べ比べワークショップなど特色ある体験イベントも様々に展開され、また館内和食レストランでは秋冬へと季節の移ろいとともに富山ブランドのベニズワイガニをご賞味いただけるようになるなど、今後の展開から目が離せません。それではさっそく県産材のタテヤマスギの温もりを感じられる館内をのぞいてみましょう。 [詳細](#)

アンテナショップ紹介
Vol.2

「日本橋とやま館」
(富山県)



日本橋とやま館 内観



館内和食レストラン「富山はま作」